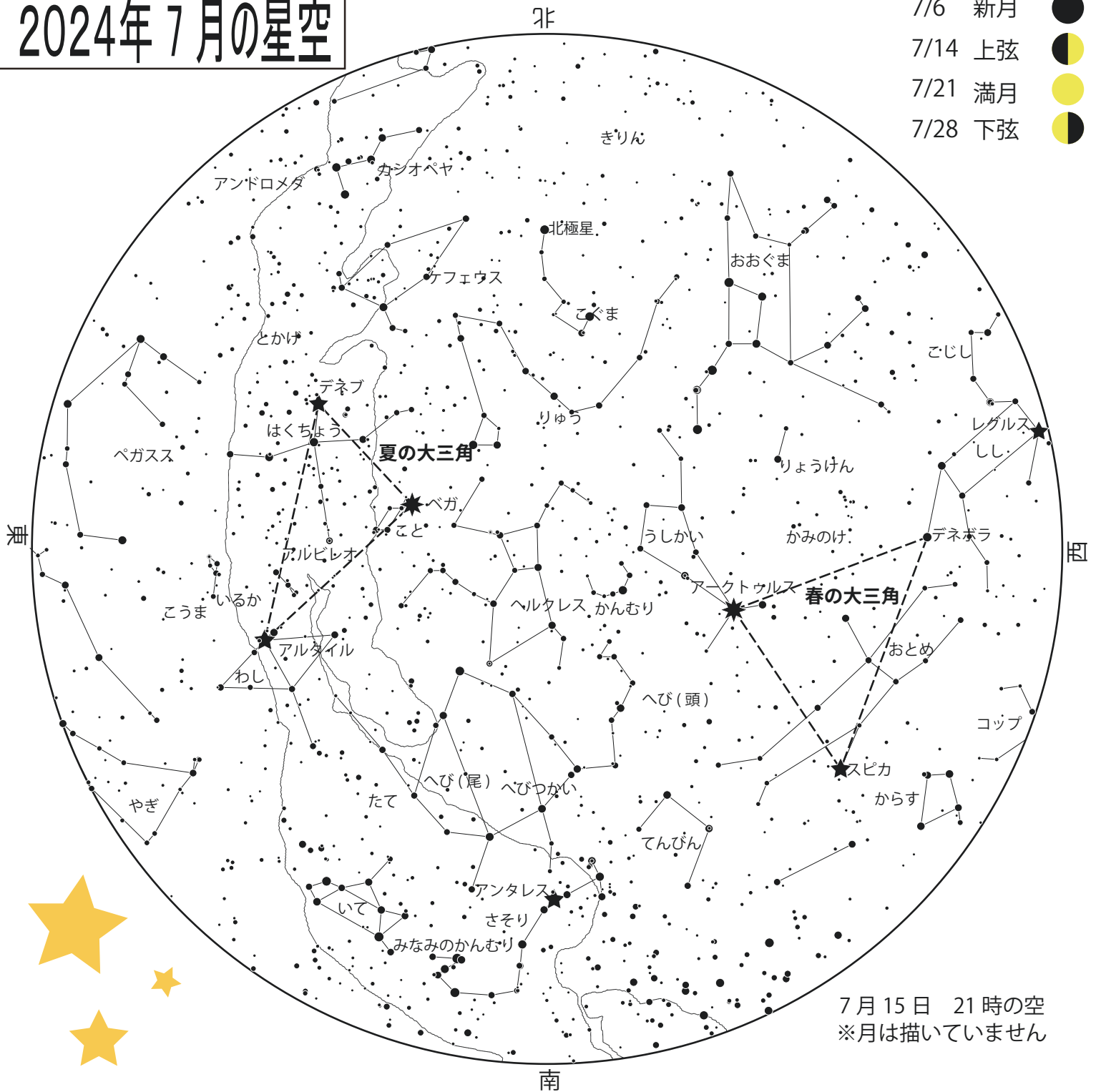


姫路で見る 2024年7月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

7/6 新月 
7/14 上弦 
7/21 満月 
7/28 下弦 



7月15日 21時の空
※月は描いていません

7月になってから、梅雨空が広がる日が続いていますが、たまに晴れた日に夜空を見上げてみると、西の空にはまだたくさんの春の星を見ることができます。北の空高く、ひしゃくの形をした7つの星の並びの「北斗七星」が見つかります。ひしゃくの柄のカーブを伸ばすと、オレンジ色に輝く「**うしかい座**」の1等星アークトゥルスが見つかります。カーブの更に先には、白く輝く「**おとめ座**」の1等星スピカがあります。西の地平線に沈みかけている「**しし座**」の、尻尾の先で輝く2等星のデネボラと直線で結ぶと、南の方角に春の大三角が出来ます。

南の空と東の空は、夏の星たちでいっぱいになっています。「**さそり座**」は「**いて座**」に弓矢で狙われていて、西の空へと逃げていきます。「**こと座**」のベガは七夕の物語の織姫星、「**わし座**」のアルタイルは彦星です。織姫星と彦星の間には天の川が流れていて、毎年七夕の日だけに会うことが許されています。七夕は旧暦の7月7日で、現在の暦では、今年は8月10日が伝統的七夕になります。七夕の星たちと「**はくちょう座**」のデネブをつないでできる「夏の大三角」は、夏のシンボルです。